

厚生労働省北海道労働局発表
令和4年5月19日

担当
厚生労働省
北海道労働局労働基準部安全課
課長 八反田 健
副主任産業安全専門官 鍋岡 順子
代表電話：011-709-2311（内線 3552）
直通電話：011-788-6327

報道関係者 各位

令和4年の死亡労働災害による被災者は 12 人に

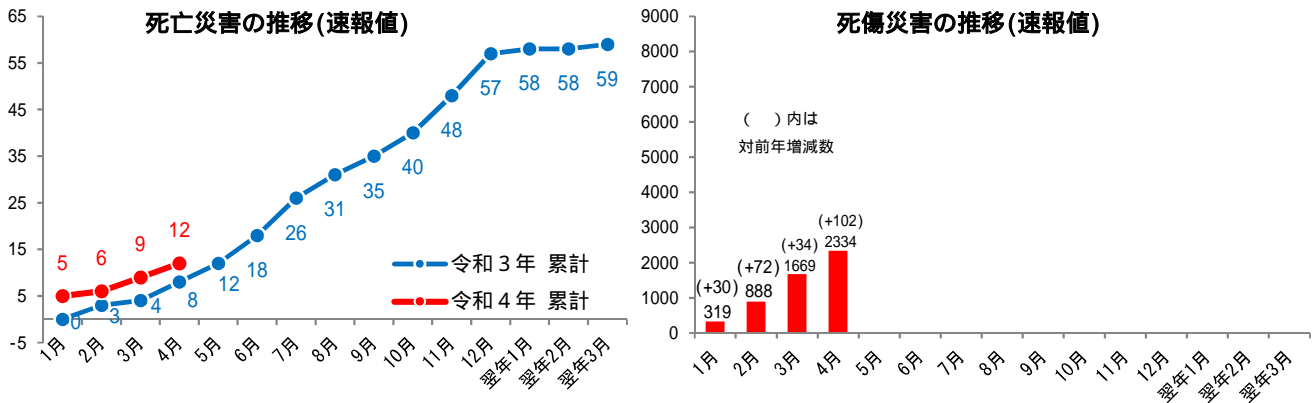
～ 令和4年の北海道内の労働災害発生状況(令和4年4月末現在速報値)～

北海道労働局(局長 友藤智朗)は、令和4年の労働災害発生状況(令和4年4月末現在速報値)について取りまとめたので、その内容を公表します。

令和4年の死亡労働災害はすでに12件発生しており、昨年同期を4件、50%上回っています。業種別では建設業が5件、製造業、陸運業、商業が各2件の順となっております。建設業等は繁忙期を迎えますが、5月25日から31日までは「建設安全週間」です。この機会に現場作業に伴うリスクを洗い出し、安全意識の向上、定着を図るなど労働災害防止対策の徹底を図りましょう。

1 労働災害の月別推移

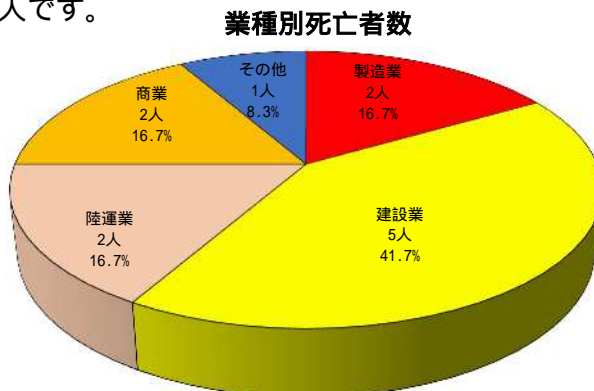
令和4年4月末現在の道内の労働災害による死亡者数は12人で、前年同期と比べて4人増加しており、休業4日以上の死傷者数は2,334人で、前年同期と比べて4.6%増加しています。



2 死亡災害発生状況

(1) 業種別の状況【資料番号1】

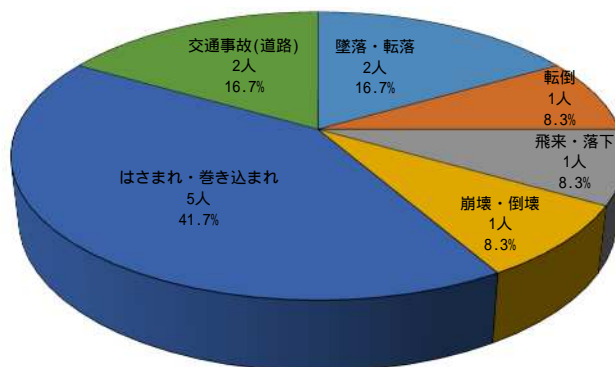
業種別では、建設業において5人と死亡災害の41.7%を占めており、次いで製造業、陸運業及び商業が各2人です。



(2) 事故の型別の状況【資料番号2】

事故の型別では、「はさまれ、巻き込まれ」が5人、「墜落・転落」及び「交通事故（道路）」が各2人となっています。

事故の型別死亡者数

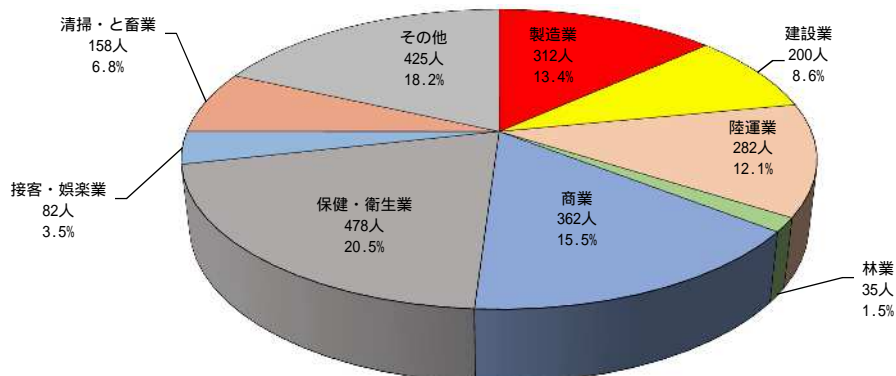


3 休業4日以上死傷災害発生状況

(1) 業種別の状況【資料番号3】

業種別では保健・衛生業が478人と最も多く、商業が362人、製造業が312人、陸上貨物運送事業が282人、建設業が200人の順となっています。

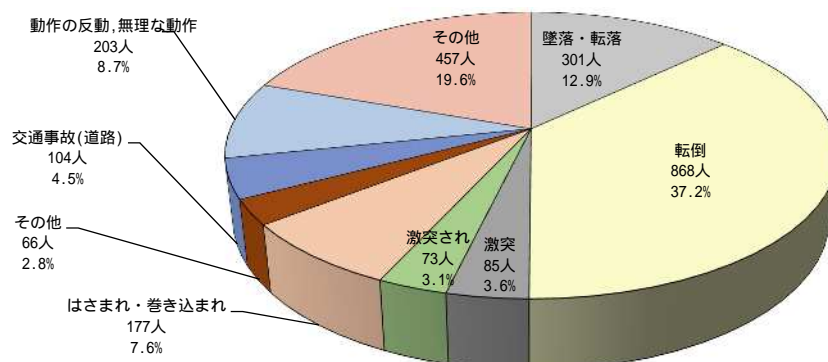
業種別死傷者数



(2) 事故の型別の状況【資料番号4】

事故の型別では、「転倒」が868人で最も多く、「墜落・転落」が301人、「動作の反動、無理な動作」が203人、「はさまれ・巻き込まれ」が177人、「交通事故（道路）」が104人の順となっています。

事故の型別死傷者数



4 北海道労働局の対応

北海道における労働災害防止のために、災害多発業種に対して業種ごとの災害特性に応じた重点的な災害防止対策を推進するほか、転倒災害等の業種をまたいで多発している災害についても災害態様に応じた災害防止対策を推進しています。

(主な取組の推進)

建設工事着工期労働災害防止運動を実施します。

建設業における労働災害の防止を図るためには建設工事現場が動き出す着工期に安全衛生管理体制の再確認や安全意識の定着を図ることが重要です。

このため、「『着工期』こそ、安全対策の「質」を決める時期」をスローガンに、建設工事着工期労働災害防止運動を展開します。

特に、5月25日から5月31日までを「建設安全週間」と定め、各事業場の自主的な労働災害防止活動の一層の促進を図ることとします。

【取組期間：令和4年4月1日～令和4年6月30日】

参考：リーフレットのダウンロードはこちらです。

北海道労働局ホームページ内に移動します。

URL https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anken_eisei/anken-kankei/sagai/kennsetsugyousaigaiboushi.html



- 職場における新型コロナウイルス感染症対策実施のため「取組の5つのポイント」を確認しましょう！

厚生労働省では、職場における新型コロナウイルス感染症対策の基本的事項である、取組の5つのポイントと感染防止対策の実践例を示し、事業場の実態に即した、実行可能な感染拡大防止対策の推進を呼びかけています。

参考：リーフレットのダウンロードはこちらです。

厚生労働省ホームページ内に移動します。

URL <https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000736900.pdf>



- 「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」（取組期間：令和4年5月1日～9月30日）
北海道労働局では、労働災害防止団体などと連携して、「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」を展開し、暑さ指数の活用のほか、こまめな水分補給、休憩時間の確保など職場での熱中症予防のための重点的な取り組みを進めています。

【添付資料】

資料番号	1	令和4年における死亡災害発生状況
資料番号	2	令和4年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）
資料番号	3	令和4年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
資料番号	4	令和4年 業種別労働災害発生状況（その1、その2）
資料番号	5	令和4年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
資料番号	6	令和4年 署別・業種別死亡災害発生状況
資料番号	7	令和4年 死亡労働災害の概要（令和4年4月把握分）
資料番号	8	令和4年 有害物質による急性中毒等発生状況

労働災害統計表について

各年の災害統計は、翌年3月末までに把握した12月末までの休業4日以上災害情報を集計して、統計値を確定しています。

令和3年の災害統計は、令和4年3月31日以降に確定することとなります。

令和4年における死亡災害発生状況 [速報]

令和4年1月1日～令和4年4月30日

北海道労働局

業種	令和4年		令和3年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	12 (2)	100.0	8 (3)	100.0	4	50.0	5	100.0
製造業	2 ()	16.7	()		2	-	2	-
鉱業	()		()			-		-
建設業	5 (1)	41.7	3 (1)	37.5	2	66.7	2	100.0
交通運輸事業	()		()			-		-
陸上貨物運送事業	2 ()	16.7	3 (2)	37.5	-1	-33.3	1	100.0
港湾運送業	()		()			-		-
林業	()		1 ()	12.5	-1	-100.0	-1	-100.0
その他の事業	3 (1)	25.0	1 ()	12.5	2	200.0	1	100.0

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

令和4年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

令和4年1月1日～令和4年4月30日

北海道労働局

業種	令和4年		令和3年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	3 (1)	100.0	1 ()	100.0	2	200.0	1	100.0
小売業	2 (1)	66.7	()		2	-	1	-
医療保健業	()		()			-		-
社会福祉施設	()		()			-		-
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	()		()			-		-
ビルメンテナンス業	()		()			-		-
ゴルフ場の事業	()		()			-		-
警備業	()		()			-		-
農業・畜産業	()		()			-		-
水産業	()		()			-		-
その他	1 ()	33.3	1 ()	100.0				

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

業種別労働災害発生状況 その1

令和4年1月1日～令和4年4月30日

北海道労働局

業種別	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	12	2,322	2,334	8	2,224	2,232	102	4.6	100.0	59	8,088	8,147
製造業	2	310	312		326	326	-14	-4.3	13.4	3	1,214	1,217
食料品		149	149		162	162	-13	-8.0	6.4		654	654
木材・家具		29	29		42	42	-13	-31.0	1.2	1	111	112
紙・印刷		8	8		4	4	4	100.0	0.3		19	19
窯業・土石		20	20		15	15	5	33.3	0.9	1	48	49
金属・機械		43	43		36	36	7	19.4	1.8		172	172
その他	2	61	63		67	67	-4	-6.0	2.7	1	210	211
鉱業		1	1		1	1			0.0		2	2
土石採取業		5	5		4	4	1	25.0	0.2	1	23	24
建設業	5	195	200	3	189	192	8	4.2	8.6	20	939	959
土木工事業	2	81	83	2	68	70	13	18.6	3.6	11	348	359
建築工事業	1	73	74		72	72	2	2.8	3.2	6	377	383
木造建築業		18	18		24	24	-6	-25.0	0.8	1	118	119
その他	2	23	25	1	25	26	-1	-3.8	1.1	2	96	98
交通運輸事業		128	128		87	87	41	47.1	5.5	1	241	242
陸上貨物運送事業	2	280	282	3	259	262	20	7.6	12.1	8	856	864
道路貨物運送	2	267	269	3	232	235	34	14.5	11.5	8	795	803
陸上貨物取扱		13	13		27	27	-14	-51.9	0.6		61	61
港湾運送業		5	5		12	12	-7	-58.3	0.2		21	21
林業		35	35	1	19	20	15	75.0	1.5	1	73	74
水産業		19	19		18	18	1	5.6	0.8	3	127	130
商業	2	360	362		381	381	-19	-5.0	15.5	8	1,232	1,240
清掃・と畜業		158	158		105	105	53	50.5	6.8	2	398	400
上記以外の事業	1	826	827	1	823	824	3	0.4	35.4	12	2,962	2,974

(注) 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

第13次労働災害防止計画進捗状況

4月末同月比

	死亡災害			死傷災害		
	被災者数	増減数	増減率	被災者数	増減数	増減率
基準年(平成29年)	25			1,624		
5年目(令和4年)	12	-13	-52.0%	2,334	710	43.7%

第13次労働災害防止計画の目標
 平成29年と比較して令和4年までに…
 ・死亡者数を20%以上減少させる。
 ・死傷者数を5%以上減少させる。

業種別労働災害発生状況 その2

令和4年1月1日～令和4年4月30日

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業		6	6		16	16	-10	-62.5	0.3	3	112	115
畜産業		69	69		80	80	-11	-13.8	3.0	1	275	276
金融・広告業		11	11		17	17	-6	-35.3	0.5	1	46	47
映画・演劇業		2	2		1	1	1	100.0	0.1		5	5
通信業		85	85		66	66	19	28.8	3.6		156	156
教育・研究業	1	16	17		22	22	-5	-22.7	0.7	1	74	75
保健衛生業		478	478		441	441	37	8.4	20.5	1	1,557	1,558
接客娯楽業		82	82	1	74	75	7	9.3	3.5	3	382	385
その他の事業		77	77		106	106	-29	-27.4	3.3	2	355	357
合計	1	826	827	1	823	824	3	0.4	35.4	12	2,962	2,974

「第三次産業」の内訳

業種別	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	2	360	362		381	381	-19	-5.0	15.5	8	1,232	1,240
うち 小売業	2	300	302		315	315	-13	-4.1	12.9	5	975	980
金融・広告業		11	11		17	17	-6	-35.3	0.5	1	46	47
映画・演劇業		2	2		1	1	1	100.0	0.1		5	5
通信業		85	85		66	66	19	28.8	3.6		156	156
教育・研究業	1	16	17		22	22	-5	-22.7	0.7	1	74	75
保健・衛生業		478	478		441	441	37	8.4	20.5	1	1,557	1,558
うち 社会福祉施設		308	308		304	304	4	1.3	13.2		994	994
うち 医療保健業		165	165		135	135	30	22.2	7.1	1	550	551
接客・娯楽業		82	82	1	74	75	7	9.3	3.5	3	382	385
うち 飲食店		39	39		31	31	8	25.8	1.7	1	185	186
うち 旅館業		17	17		23	23	-6	-26.1	0.7	1	102	103
うち ゴルフ場		2	2		2	2			0.1		46	46
清掃・と畜業		158	158		105	105	53	50.5	6.8	2	398	400
その他の事業		77	77		106	106	-29	-27.4	3.3	2	355	357
うち 警備業		21	21		26	26	-5	-19.2	0.9	1	84	85
合計	3	1,269	1,272	1	1,213	1,214	58	4.8	54.5	18	4,205	4,223

令和4年 署別・業種別死亡災害発生状況

令和4年1月1日～令和4年4月30日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他の事業	合計
	製造業	うち木材木製品製造業	鉱山保安法適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物運送業	その他の運輸業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業		
署別													
札幌中央					1							1	2
札幌東					1								1
函館					1								1
小樽													
岩見沢													
旭川												1	1
帯広												1	1
滝川	1												1
北見					1								1
室蘭							1						1
釧路													
名寄													
留萌													
稚内													
浦河					1								1
苫小牧	1						1						2
倶知安													
計	2				5		2					3	12

死亡労働災害の概要(令和4年4月把握分)

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
4	4	17時台	その他の製造業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	動力運搬機 2 2 1	被災者は、トラック(最大積載量19.9トン)の左側面にある路肩灯の不具合の修理作業をしていたところ、別の労働者が被災者がいること気づかず、当該トラックを発進させたため、トラックの下で作業していた被災者が轢かれたもの。
4	4	16時台	教育・研究業	100人以上 299人	飛来、落下	人力機 3 械 6 工具等 1	敷地内車庫にて、フォークリフトのエンジンオイル交換作業のためジャッキアップを行っていた被災者の同僚が、被災者に、ジャッキの高さを確認するよう求め、被災者がフォークリフトの下に潜り込んだところ、ジャッキが外れてフォークリフトが落下し、被災者の頭部がフォークリフトと地面の間に挟まれたもの。
4	4	21時台	土木工事業	30人以上 49人	はさまれ、巻き込まれ	動力運搬機 2 2 1	トンネル工事において、ずり出し作業を行うため作業の邪魔にならないよう、坑内の斜路に停車していた車両積載形トラッククレーンを後退させていたところ、後方を通行していた被災者を轢いたもの。

令和4年 有害物質による急性中毒等発生状況

北海道労働局 令和4年4 月末現在

	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	災害の状況	
1	3	14時台	その他の建設業	10人未満	<p>商業ビルの店舗内において、ガソリンエンジン式高圧洗浄機を用いて排水管の洗浄作業を代表者1名ほか4名で行っていたところ、当該洗浄機の排気ガスが店舗内に充満し、当該洗浄機付近で作業していた労働者1名が倒れたため、代表者は社用車で作業員全員を休憩させた。他の労働者1名も寒気を訴えたため、代表者は店舗経営者に救急車を呼ばせ、作業員全員を医療機関に搬送させた結果、全員が一酸化炭素中毒と診断されたもの。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者4人(休業4日以上)]</p>	
合計	発生件数	1	内訳	一酸化炭素中毒 1 件 酸素欠乏症 0 件 硫化水素中毒 0 件 その他の中毒 0 件		
	被災者数	4	内訳	死亡 0 人 休業4日以上 0 人 休業4日未満 4 人 不休 0 人		